



## 予選レポート

### 2023/5/20 Rd-4 AUTOPOLIS

天候：晴れ 気温：22℃ 出走台数：22台

前日の霧の中の雨天の影響で、午前中のフリー走行はウェット宣言下で開始された九州唯一の国際サーキットオートポリス。しかし天候は午後に向けて一気に回復し、予選開始時には気温22度、路面温度は43度まで上がる絶好の観戦日和となった。

第1予選A組の牧野選手は、コースチェックのためコースオープンと同時に中古タイヤでコースイン。チェックランの結果、ウォームアップ後の2計測ラップ目のアタックがベストと判断し、予選残り5分で新品タイヤを装着してアタックに向かった。第1セクター、第2セクターと好タイムを刻む牧野選手だったが、第3セクターでタイムが伸びず3番手で第2予選へ進む。

B組の太田選手は、牧野選手と同じく2計測ラップ目のアタックへ向かう。ところが、他車のコースアウトにより、太田選手のアタックラップ第2セクター区間走行中に赤旗中断となる。コースクリアから残り3分で予選は再開。太田選手は慎重にタイヤをマネジメントしラップを刻むが、第3セクターのヘアピンコーナーでバランスを崩し大きくタイムロス。10番手で第1予選を終える事となった。

第2予選に向けセットアップ修正をした牧野選手は、第1予選同様2計測ラップ目のアタックに向け、予選残り5分でコースへ向かう。牧野選手は第1セクターで全体ベストタイム、第2セクターでもタイムを更新したが、第1予選と同じく第3セクターで伸び悩み、7位で予選を終えた。

#### 5：牧野任祐 選手 予選7位 (第1予選A組3位 第2予選7位)

前戦鈴鹿に引き続き、新たなコンセプトでセットアップを準備してきました。良いところと悪いところの差が大きいながらも第1予選は3番手でした。

更に攻めたセットで第2予選に臨みましたが、第3セクターでかなりロスをしてしまう状況は変わりませんでした。決勝に向けても第3セクター攻略が重要になります。

明日は7番グリッドからのスタートで、十分トップ3を狙えるポジションです。

手探り部分はありますが開発を継続し、我々が本来持つポテンシャルを取り戻します。

#### 6：太田格之進 選手 予選20位 (第1予選B組10位)

朝のフリー走行から苦戦していました。前戦以降 チームとはかなり密にコミュニケーションし準備を整えて臨んだのですが、予選もまとめ切ることが出来ず、もっと力を出せるという思いもあり、悔しい気持ちでいっぱいです。苦しい状況ですが、決勝では様々なことが起こるでしょうから、柔軟に対応し、少なくともポイント圏内フィニッシュは目指したいです。